

平成28年第3回定例市議会報告

1 日程 【表紙】

8月29日(月)開会

31日(水)一般質問 園川 議員(公明) 重村 議員(未来)

9月1日(木)一般質問 那須 議員(共産) 小佐井 議員(自民)

2日(金)一般質問 上田 議員(連合) 落水 議員(市政ク)

5日(月)一般質問 田尻(善) 議員(善進) 小池 議員(地域)

6日(火)一般質問 三森 議員(公明) 光永 議員(自民)

7日(水)一般質問 田上 議員(連合)

12日(月)

~13日(火)予算決算委員会(総括質疑)

14日(水)予算決算委員会分科会、部門別常任委員会

21日(水)予算決算委員会(分科会長報告、締めくくり質疑、表決)

27日(火)委員長報告、質疑、討論、表決、閉会

2 本会議(一般質問) 質疑要旨 6件 【P1】

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 体育館の整備について | (施設課) |
| (2) 小中学校空調設備整備について | (施設課) |
| (3) 教職員のメンタルケアについて | (教職員課) |
| (4) 個別教育支援計画について | (総合支援課) |
| (5) 熊本市いじめ防止条例について | (総合支援課) |
| (6) 小中学校の土曜授業について | (指導課) |

3 予算決算委員会(総括質疑) 質疑要旨 2件 【P3】

4 予算決算委員会分科会 質疑要旨 9件 【P4】

5 教育市民委員会 質疑要旨 2件 【P6】

6 予算決算委員会(締めくくり質疑) 質疑要旨 該当なし

7 閉会日(質疑) 質疑要旨 該当なし

2 本会議（一般質問） 質疑要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>（施設課）</p> <p>体育館の整備について</p> <p>被災した体育館の補修は、3月までに完成できるか。 また、老朽化した体育館の改築計画はどのようになったか。</p>	<p>被災した体育館の補修は、平成28年度内の完成を目指して取り組んでいる。 また、老朽化した体育館については、学校施設全体の整備を行なう中で、計画的に取り組んでいく。</p>
<p>小中学校空調設備整備について</p> <p>小中学校空調設備整備に対する市長の考え、国庫補助の採択状況、今後の方向性等はいかがか。 【市長答弁】</p>	<p>小中学校における空調設備の整備については、教育環境や避難所としての環境整備の観点から極めて優先度の高い課題として認識している。 国庫補助が不採択であったため本年度の単独実施は困難だが、今後、国において経済対策を盛り込んだ第2次補正予算が編成される見通しであり、その動向に応じ、的確に対応することとしており、必要な財源を確保したうえで早期設置に向けて取り組む。</p>
<p>（教職員課）</p> <p>教職員のメンタルケアについて</p> <p>震災後、避難所対応等の慣れない業務が生じたことから、メンタルケアが必要な教職員もいると聞いている。現状と課題解消の取り組みはどうか。</p>	<p>震災後、教職員に実施したアンケートでは、回答者のうち約6%に、うつ状態やPTSDの傾向があるという結果であった。該当する職員に対しては、精神科医や臨床心理士が行う学校問題対応相談事業の活用や、スクールカウンセラーへの相談を勧奨するなどの対応を行った。 また、夏季休業期間に教育委員会が主催する行事を必要最小限とし、教職員の負担軽減を図るとともに、管理職に対して、教職員が休暇等を取得しやすい環境づくりに努めるよう指導を行った。</p>
<p>（総合支援課）</p> <p>個別教育支援計画について</p> <p>個別教育支援計画書の運用状況と効果の検証はどうか。</p>	<p>個別教育支援計画書は、長期的視点に立った教育的支援を行ううえで重要であることから、特別支援学級においては、全ての子どもたちの計画書を作成し、成果を評価して、次の計画に反映している。今後は、進学先と連携するためのツールのひとつとして積極的な活用を図るとともに、効果的に活用するため、教職員の専門性のさらなる向上を図る。</p>

質疑要旨	応答要旨
<p>熊本市いじめ防止条例について</p> <p>熊本市は、いじめ防止条例を制定しないのか。</p>	<p>熊本市いじめ防止基本方針を策定するとともに、各学校でも方針を策定し、いじめの防止等に取り組んでいる。</p> <p>また、熊本市教育大綱の重点的取組のひとつとしていじめへの細やかな対応を掲げ、学校や教育委員会、家庭、地域が連携して取り組んでおり、条例の制定については検討していない。今後、条例を制定している他都市の状況について調査する。</p>
<p>(指導課)</p> <p>小中学校の土曜授業について</p> <p>土曜授業の導入についてどのように取り組むのか。</p>	<p>本年度、モデル校において年間4回程度の土曜授業を実施するとともに、今後の方向性等について検討するため、土曜授業検討会議を設置した。今後、他都市の実施状況等も踏まえ、実施に向けて検討していきたい。</p>

3 予算決算委員会（総括質疑） 質疑要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>（施設課）</p> <p>小中学校維持補修経費について</p> <p>小中学校維持補修経費の減額理由を聞きたい。</p>	<p>児童生徒の安全を確保するため、災害復旧を最優先にマンパワーを集中して取り組んでおり、年度内に改善が必要なものと、やむを得ず一部先送りする事業について精査し、事業費を減額した。</p>
<p>（青少年教育課）</p> <p>児童育成クラブの運営等について</p> <p>国の基準を満たしていない施設について、どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>本市では、定員を設けず、入会要件を満たす全ての児童を受け入れているため、現在、40校の児童育成クラブで国の面積基準を満たしていない状況である。そのため、施設の新設等だけでなく、共用も含め、18校において余裕教室等の活用を行うなど、学校施設の利活用を図っている。</p>

4 予算決算委員会分科会 質疑要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>(施設課)</p> <p>災害復旧補助について</p> <p>災害復旧費の国庫補助は内示がっているのか。詳しい金額の提示がなければ動く可能性があるのか、前提を説明して欲しい。</p>	<p>震災後に被害報告を行い、事業計画書を作成中である。査定、現地調査を経て、逐次、工事に取り掛かる。現段階では、国に対する要求ベースでの予算計上であり、今後も財源確保に向けて努力していく。</p>
<p>被災した施設の復旧について</p> <p>震災で被害が大きかった施設は、国による被災度区分判定結果で改築と補修に分けられており、市民は不安を抱えている。地域の声を聴き、異議申立や陳情をしたのか。</p> <p>10年後ぐらいに改築するのであれば、無駄なお金もかかるので、建替えるといった申請はできなかったのか。</p>	<p>震災後、24カ所の体育館を使用禁止とし、全て建替える方針で国に協議・要望した結果、小中学校1校ずつの建替えを認めていただいた。内装材、照明器具等の落下物については、建物の構造的な問題ではなく、今回の改修でできるところは取り組んでいく。</p>
<p>体育館の建替について</p> <p>来年度、西山中体育館が改修予定だと思うがどうか。</p> <p>次に城西中、花陵中が古かったと思うが、次の順番に入っているのか。</p>	<p>西山中は、今年度、改修予定だったが、地震の影響もあり、来年度から実施したいと考えている。</p> <p>体育館の建替については、その他の古い体育館を含め耐力度調査を実施し、順番を決めることとしており、西山中の次は決まっていない。</p>
<p>(青少年教育課)</p> <p>青少年国際・国内交流事業について</p> <p>小学生の福井市交流について、福井市は、本市の被災状況を考慮し熊本市への派遣を実施せず、熊本市からの受入のみを行うとのことだが、福井市からは、様々な支援をいただいている。福井市への返礼は考えているのか。</p>	<p>今後、派遣に向けた準備の中で、福井市訪問時に感謝の気持ちを表せるよう考えたい。</p>

質疑要旨	応答要旨
<p>(総合支援課)</p> <p>不登校対策について</p> <p>不登校対策の取組の現状は如何か。</p>	<p>各学校では、愛の1・2・3運動、SCやSSWの活用、中1ギャップの対応等、様々な取組を行っている。市教委は、1ヵ月会えない児童生徒等について学校に報告を求めるなどし、学校と連携した取組を進めている。また、本年度から新たに不登校対策サポーターを配置した。</p>
<p>(指導課)</p> <p>小中一貫教育について</p> <p>小中一貫教育についてはどのように考えているか。</p>	<p>小中一貫教育については、本年度、江南中、向山小、向山幼稚園をモデル校に指定し、相互の乗り入れ授業、研修、合同遠足等を実施している。2月には公開授業を予定しており、このようなモデル校の実践を踏まえ、小中連携カリキュラムを作成し、小中9年間で子どもたちを育てる取組を進めていきたい。</p>
<p>(健康教育課)</p> <p>日吉共同調理場の再開について</p> <p>日吉共同調理場はいつ復旧する見込みか。</p>	<p>本議会で設計費を要求しており、12月議会では工事費を要求したい。来年度の1学期までに復旧するのは難しいが、2学期からは再開したい。</p>
<p>災害時の学校の対応について</p> <p>災害時の学校の対応については、授業時間外や放課後等の想定も必要ではないか。</p> <p>また、災害時、学校は指定避難所となるので、地域との連携を含めたマニュアルが必要ではないか。</p>	<p>これまでのマニュアルでは、1通りのパターンしか想定していなかったが、地震の経験を踏まえ、現在、子どもの居場所を想定したマニュアルを各学校で作成していただいているところである。場面ごとに、より具体的な対応が必要と考えている。</p>
<p>子どもの体力・運動能力テストについて</p> <p>子どもの体力・運動能力テストについて、成果指標の数値自体はそれほど高いとは言えないのに、目標値に達していない状況をどのように認識しているのか。</p>	<p>小学校、中学校ともに未達成の状況が続く中、特に小学生は指標を達成した項目数が少なく、危機感を抱いている。このため、平成26年度から子どもの体づくり推進委員会を立ち上げ、モデル校を指定し取り組みを進めているところであり、モデル校で得られた成果を「体力向上プログラム」として、各学校に周知していきたい。</p>

5 教育市民委員会 質疑要旨

質疑要旨	応答要旨
<p>(総合支援課)</p> <p>学校教育コンシェルジュの運営状況について</p> <p>学校教育コンシェルジュの運営状況はいかがか。また、どのような相談があるか。</p>	<p>7月1日の開設から8月末までに62件の相談があり、122回対応した。電話相談の他、学校に出向き対応している。学校への不満、教職員との関係、いじめ問題、不登校、発達の課題等の相談が寄せられている。</p>
<p>(教育政策課)</p> <p>避難所運営等における学校の関与について</p> <p>熊本地震を踏まえ、避難所運営等における学校の関与を見直す考えはないのか。</p>	<p>関係各位から様々な意見をいただいているところであり、より良い方策を検討していきたい。</p>